

平成24年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	健常者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業		担当部局庁	スポーツ・青少年局		作成責任者	スポーツ振興課長 嶋倉 剛	
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	スポーツ振興課				
会計区分	一般会計		施策名	X II-2 生涯スポーツ社会の実現				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	スポーツ基本法第2条		関係する計画、通知等	スポーツ基本計画(平成24年3月30日策定) スポーツ立国戦略(平成22年8月26日策定)				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>スポーツ基本法(平成23年法律第78号)では第2条第5項において、「スポーツは、障害者が自主的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、障害の種類及び程度に応じた必要な配慮をしつつ推進されなければならない。」と障害者スポーツに関する基本理念が掲げられている。</p> <p>このため、各種マニュアル、新しい種目、用具等の開発や実践研究の実施、地域における障害者のスポーツ・レクリエーション環境の実態把握等により、健常者と障害者が一緒に楽しめるスポーツ・レクリエーション活動を推進する。</p>							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の実施にあたっての基本方針の策定等を行うとともに、障害者が地域におけるスポーツ・レクリエーション活動に主体的に参画する方策等の検討を行う協力者会議の設置 ○ 障害者スポーツ関係団体等との連携による企画・運営マニュアルの開発、各ブロックにおける実践研究、実践研究の成果やスポーツ医・科学を活用した指導マニュアルや新たな種目・用具等についての開発 ○ 地域における障害者のスポーツ・レクリエーション環境の実態把握 ○ 健常者と障害者が一体となったスポーツ・レクリエーション活動について、実践研究等の成果の発表や意見交換を行うシンポジウムの開催 							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求		
		当初予算			71	128		
		補正予算						
		繰越し等						
	計				71	128		
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値(33年度)
	成人の週1回以上のスポーツ実施率 (内閣府の「体力・スポーツに関する世論調査」を基に推計)(22・23年度は調査せず)			%	-	-	-	65
			達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	本事業は調査研究を行うもので、その活動実績を数値で表すことができない。			-	-	-	-	-
単位当たりコスト	-		算出根拠	-				
平成24・25年度予算内訳	費目	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.6百万円	0百万円					
	委員等旅費	0.5百万円	0.5百万円					
	その他(職員旅費、庁費)	0.5百万円	0百万円					
	スポーツ振興事業委託費	69.7百万円	127.4百万円					
	計	71百万円	128百万円					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	健全者と障害者が一緒に楽しめるスポーツ・レクリエーション活動を推進する当事業は、生涯を通じた住民のスポーツ参加の基盤となるものであり、スポーツ基本法及びスポーツ基本計画において国による取組の必要性が明記されるなど、政策の優先度が極めて高い事業である。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	一般競争入札(総合評価落札方式)により、選定委員会の厳正な審査並びに入札を経て厳正に支出先が選定されている。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 ※類似事業名とその所管部局・府省名	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	当事業は、健全者と障害者が一緒に楽しめるスポーツ・レクリエーション活動を推進するものであり、各種マニュアルの作成や新しい種目・用具の開発等に相当程度期間を要することから、複数年度に渡って実施する必要がある。		
予算監視・効率化チームの所見			
本事業は、執行面における課題もなく、事業の成果目標も立てられていることから適切な事業と認められる。			
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
スポーツ基本法について： http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/kihonhou/index.htm スポーツ基本計画について： http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/plan/index.htm スポーツ立国戦略について： http://www.mext.go.jp/a_menu/sports/rikkoku/1297182.htm			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	-	平成23年行政事業レビュー	新24-0033

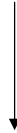
※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。

文部科学省
71百万円

・ 諸謝金 0.6百万円
・ 委員等旅費 0.5百万円
・ その他※ 0.5百万円
※ 職員旅費及び庁費

を含む

各種マニュアル、新しい種目、用具等の開発や実践研究の実施、地域における障害者のスポーツ・レクリエーション環境の実態把握等により、健常者と障害者が一緒に楽しめるスポーツ・レクリエーション活動を推進する。



【総合評価入札・委託】

A. 民間企業等
70百万円

・ 連携推進委員会の開催
・ 健常者と障害者が融合したスポーツ・レクリエーション活動実施研修会の開催
・ 健常者と障害者が融合したスポーツ・レクリエーション活動の全国展開
・ 障害者等のスポーツ活動状況調査
・ 健常者と障害者が融合したスポーツ・レクリエーション活動に関するシンポジウムの開催

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。

